



交付運用報告書

SOMPOターゲットイヤー・ファンド

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

<愛称> ハッピーボヤージュ2055

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

<愛称> ハッピーボヤージュ2045

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

<愛称> ハッピーボヤージュ2035

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2019年11月6日～2020年11月2日

第4期 決算日：2020年11月2日

受益者の みなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、国内外の株式や債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末 2020.11.2

	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2055	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2045	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2035
基準価額	11,237円	10,999円	10,688円
純資産総額	279百万円	375百万円	674百万円
騰落率*	△8.6%	△7.1%	△6.0%
期中分配金合計	0円	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

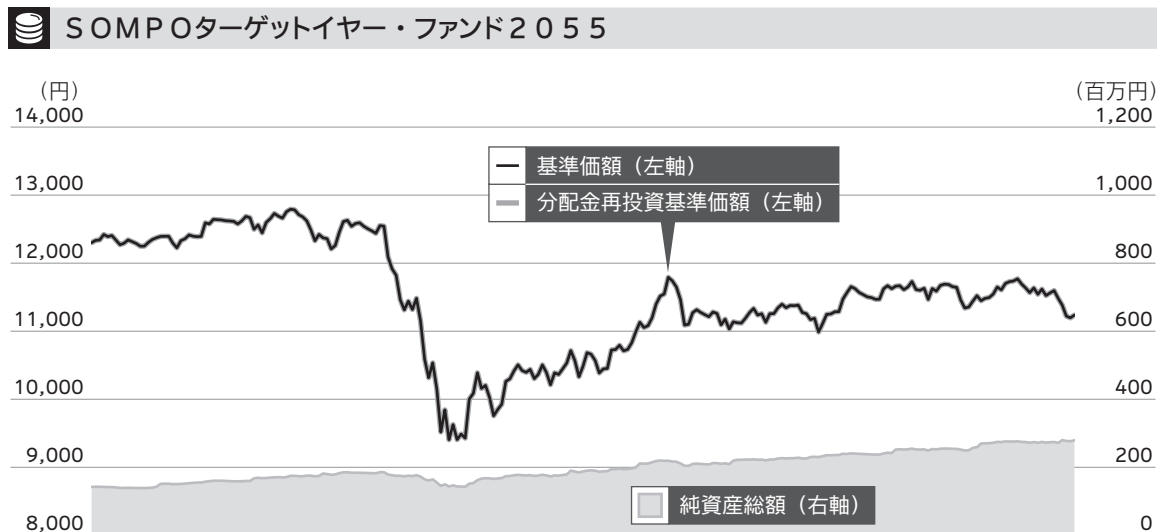
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



第3期末
2019.11.5

第4期末
2020.11.2

第4期首

騰落率

第4期末

基準価額
12,301円

△8.6%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
11,237円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

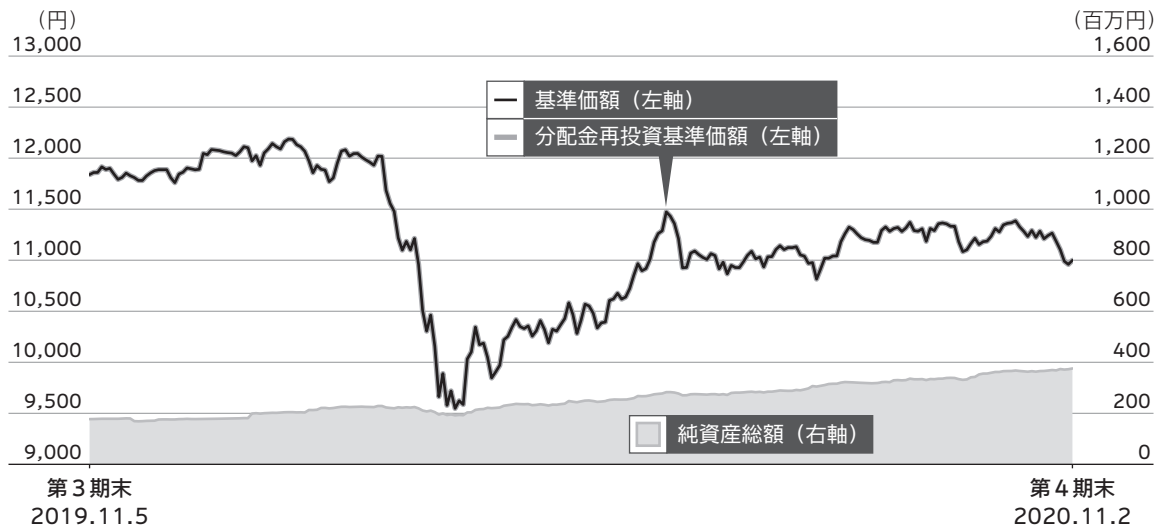
当期間、投資対象であるファンドのうち、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」「ISHARES CORE MSCI EMERGING」を除く全てのファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式やエマージング債券の下落が主な値下がり要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045



第4期首

基準価額

11,839円

騰落率

△7.1%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第4期末

基準価額

10,999円

(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

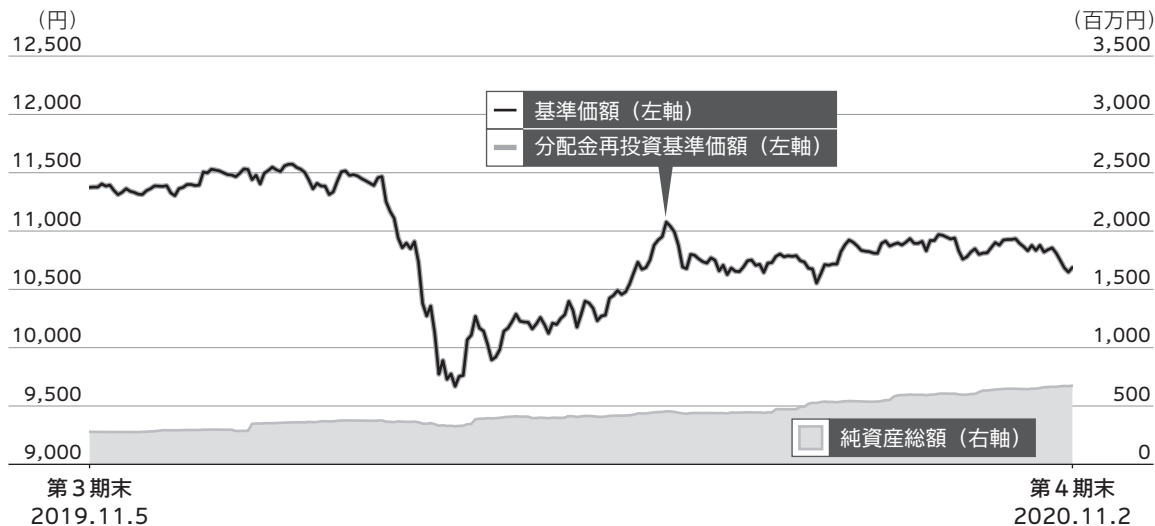
当期間、投資対象であるファンドのうち、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」「ISHARES CORE MSCI EMERGING」を除く全てのファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式やエマージング債券の下落が主な値下がり要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035



第4期首

基準価額

11,374円

騰落率

△6.0%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第4期末

基準価額

10,688円

(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

当期間、投資対象であるファンドのうち、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」「ISHARES CORE MSCI EMERGING」を除く全てのファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。国内株式やエマージング債券の下落が主な値下がり要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の主な変動要因

損保ジャパン日本債券マザーファンド

騰落率は－1.3%となりました。

国内債券利回りの上昇（価格は下落）により、基準価額は下落しました。

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

騰落率は－17.2%となりました。

当ファンドの騰落率はベンチマークを下回り、同期間の国内株式市場も下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

S J A M スモールキャップ・マザーファンド

騰落率は－11.4%となりました。

当ファンドの騰落率はベンチマークを下回り、同期間の国内株式市場も下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

騰落率は＋4.0%となりました。

米国債券や欧州債券など主要国債券の利回りが低下（価格は上昇）したことから、基準価額は上昇しました。

S O M P O 外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

騰落率は－10.4%となりました。

保有外貨建て資産の通貨が概ね対円で下落したことや、ファンドで保有する株式の価格の下落がマイナスに寄与しました。



SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド

騰落率は－7.4%となりました。

2020年3月以降、世界的に新型コロナウイルス感染問題が深刻化し、景気見通しが悪化したことから各国で金融緩和政策が実施され、新興国債券市場でも利回りは総じて低下したものの、リスク回避的な市場環境となったことなどから、主要新興国通貨が対円で下落した結果、当ファンドの基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。



ベビーファンド



マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	141円	1.233%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,441円です。
(投信会社)	(62)	(0.545)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(75)	(0.655)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	13	0.111	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(10)	(0.087)	
(投資信託証券)	(3)	(0.024)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.010)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	13	0.111	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(11)	(0.096)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	168	1.465	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

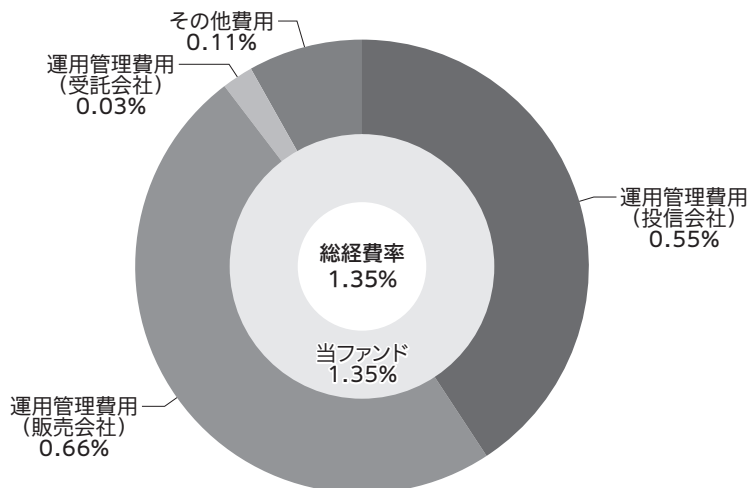
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.35%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	138円	1.233%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,162円です。
(投信会社)	(61)	(0.545)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(73)	(0.655)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.081	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(8)	(0.068)	
(投資信託証券)	(2)	(0.014)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.094	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(9)	(0.077)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	159	1.415	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

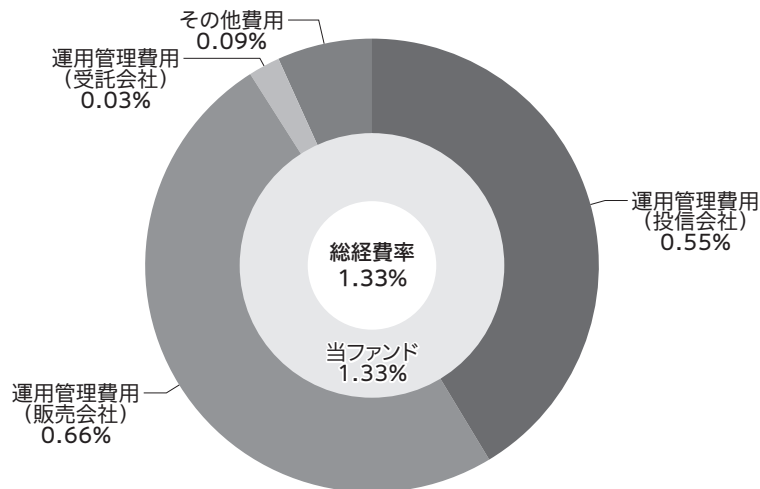
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.33%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	134円	1.233%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,835円です。
(投信会社)	(59)	(0.546)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(71)	(0.655)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.055	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.047)	
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.004)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.072	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(6)	(0.054)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.005)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	148	1.364	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

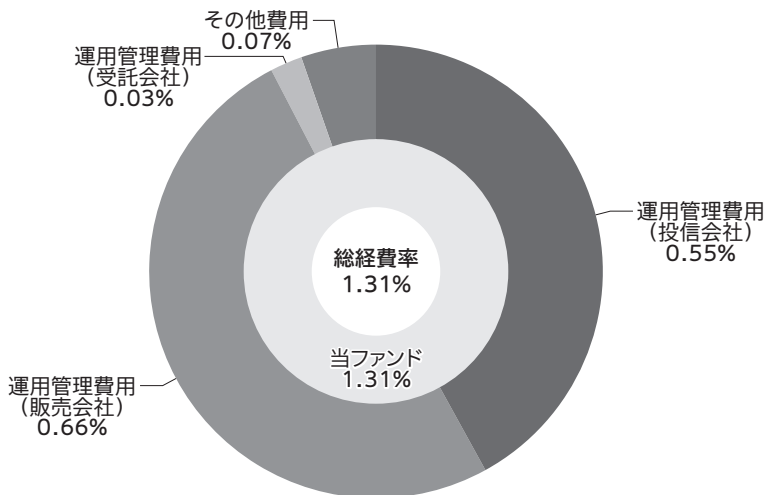
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.31%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2015.11.2～2020.11.2

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日	2016.10.25 設定時	2017.11.2 決算日	2018.11.2 決算日	2019.11.5 決算日	2020.11.2 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,498	11,983	12,301	11,237
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	25.0	△ 4.1	2.7	△ 8.6
純資産総額 (百万円)	5	7	38	142	279

2015.11.2~2020.11.2

 SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045


- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日	2016.10.25 設定時	2017.11.2 決算日	2018.11.2 決算日	2019.11.5 決算日	2020.11.2 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,900	11,473	11,839	10,999
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	19.0	△ 3.6	3.2	△ 7.1
純資産総額 (百万円)	5	6	59	177	375

最近5年間の基準価額等の推移

2015.11.2~2020.11.2

 SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035


- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日	2016.10.25 設定時	2017.11.2 決算日	2018.11.2 決算日	2019.11.5 決算日	2020.11.2 決算日
基準価額	(円) 10,000	11,398	11,030	11,374	10,688
期中分配金合計（税引前）	(円) —	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%) —	14.0	△ 3.2	3.1	△ 6.0
純資産総額	(百万円) 5	20	90	279	674

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

1. 日本債券市場

当期の日本10年債利回りは上昇しました。

期初から2019年末にかけては、貿易交渉を巡る米中の対立懸念が後退するなか、利回りは上昇基調で推移しました。2020年年明け以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした不透明感から、3月上旬にかけて市場のリスク回避的な姿勢で債券が買われたため、利回りは低下しました。その後は各国で大規模な緊急経済対策が打ち出されたことから、市場の混乱は収束に向かい、3月末には年初の利回り水準程度まで再び上昇しました。4月以降は歳出拡大を背景とした国債増発懸念などから、利回りは上昇基調で推移し、期初-0.1%台であった利回りは期末には0%台となりました。

事業債のスプレッドは、日銀による社債買い入れの強化を受けて、小幅ながら縮小しました。

2. 日本株式市場

当期のTOPIXは5.1%の下落となりました。

期初は、米中通商協議の進展や英国総選挙での保守党による過半数の議席獲得を受けて緩やかに上昇しました。2020年年明けには、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し世界の都市がロックダウン（都市封鎖）される中で相場は急落し、原油価格の急落も重しとなりました。3月後半には世界の金融当局による追加金融緩和や、政府による大規模な財政刺激策の発表を好感して反発しました。その後は、経済活動再開への期待や、ワクチンの早期開発への期待から続伸した後、感染第2波への懸念の高まりから一時下落しました。期末にかけては、感染再拡大への懸念や米国大統領選挙を巡る不透明感が燻り続けるなか、米中景気指標の好転や米国の追加景気対策への期待を背景に、一進一退の状況となりました。

3. 外国債券市場

当期の米国10年債利回りは低下しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の悪化懸念が高まるなか、2020年3月にFRB（米連邦準備理事会）がゼロ金利政策や無制限の量的緩和政策を導入したことなどから、米国10年債利回りは大幅に低下しました。

4. 外国為替市場（主要通貨）

当期の米ドル円相場は円高米ドル安となりました。

米ドル円相場は、FRBが大規模な金融緩和政策を行うなか、米国のマネタリーベース拡大や米国金利の低下が米ドル安圧力となり、円高米ドル安となりました。

5. 外国株式市場

当期の外国株式市場はほぼ変わらずとなりました。

期初は、米中間の貿易を巡る緊張の緩和を背景に株価は上昇しましたが、2020年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に経済活動を大きく制限する事態となったことで企業業績と景気が大きく悪化、株式市場は急落しました。

その後は、世界各国で大規模な金融・財政政策による経済支援が実施されたことや、新型コロナウイルス治療薬開発の進展が伝わったことで株価は底打ちし上昇基調となりました。

期末にかけては感染の再拡大による景気の先行き不透明感から軟調な展開となる局面もあったものの、期を通じては、株価はほぼ変わらずとなりました。

6. エマージング債券市場

当期のエマージング債券市場の利回りは低下しました。

期初は、米中貿易交渉の進展などを受けて、エマージング債券市場の利回りには上昇圧力が掛かりました。2020年3月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大によるグローバルな景気減速への懸念が強まり、エマージング諸国でも相次いで利下げが実施されたことから、エマージング債券市場の利回りも低下しました。

7. 外国為替市場（エマージング通貨）

当期のエマージング通貨市場は対円で下落しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした新興国の景気悪化の懸念が広がったことや、原油価格が下落したことなどが下押し圧力となり、エマージング通貨は対円で下落しました。

8. エマージング株式市場

当期のエマージング株式市場は上昇しました。

期初は米中貿易協議が一定の合意を得たことや景気回復期待を背景に、2019年末から2020年明けにかけて、株価は上昇基調で推移しました。

しかし、中国で発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりロックダウンなど経済活動を大きく制限する事態となったことで、企業業績の大幅な悪化への懸念から株価は急落しました。

その後は各国で大規模な経済対策が実施されたこともあり株価は底打ちしました。期末にかけては多くの新興国で感染拡大が継続していることで株価の上値は重くなったものの、中国における景気対策と経済指標の改善などがサポート材料となり、期を通じては、株価はプラスとなりました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

SOMPOターゲットイヤー・ファンド

各ファンドの資産アロケーションについては、当社が決定した基準資産配分比率を、ほぼ維持する戦略を採りました。

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055実質組入比率

	基本アロケーション (19年10月～20年9月)		基本アロケーション (20年10月以降)	実質組入比率 (20年11月2日)
国内債券	10.5%	→	12.2%	12.2%
国内株式	32.9%	→	32.1%	32.2%
先進国債券	3.0%	→	3.0%	3.0%
先進国株式	33.6%	→	32.7%	32.1%
新興国債券	3.2%	→	3.6%	3.6%
新興国株式	16.8%	→	16.3%	16.1%
短期資産	0.0%	→	0.0%	1.0%

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045実質組入比率

	基本アロケーション (19年10月～20年9月)		基本アロケーション (20年10月以降)	実質組入比率 (20年11月2日)
国内債券	25.1%	→	26.5%	26.2%
国内株式	27.8%	→	27.7%	27.9%
先進国債券	3.4%	→	3.5%	3.4%
先進国株式	23.7%	→	22.3%	22.0%
新興国債券	8.2%	→	8.9%	8.7%
新興国株式	11.8%	→	11.1%	11.0%
短期資産	0.0%	→	0.0%	0.7%

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035実質組入比率

	基本アロケーション (19年10月～20年9月)		基本アロケーション (20年10月以降)	実質組入比率 (20年11月2日)
国内債券	37.3%	→	38.6%	38.2%
国内株式	24.4%	→	23.5%	23.5%
先進国債券	9.0%	→	10.6%	10.5%
先進国株式	12.6%	→	11.7%	11.5%
新興国債券	10.4%	→	9.7%	9.5%
新興国株式	6.3%	→	5.9%	5.8%
短期資産	0.0%	→	0.0%	0.9%

損保ジャパン日本債券マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.5%です。

デュレーション・残存期間戦略は金利低下を予想し、プラスの金利水準にある長期・超長期ゾーンをオーバーウェイトするロングデュレーション戦略を基本としました。

債券種別戦略は、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続しました。

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、97.8%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づいたポートフォリオ構築を継続しました。当期間に行った主な銘柄入れ替えは以下の通りです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、武田薬品工業、日本たばこ産業、セブン&アイ・ホールディングスなどでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、野村ホールディングス、KDDI、ケーズホールディングスなどでした。

S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.5%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づいたポートフォリオ構築を継続しました。当期間に行った主な銘柄入れ替えは以下の通りです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、ツムラ、日鉄ソリューションズ、P A L T A Cなどでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、N O K、豊田合成、島忠などでした。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、96.8%です。

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更しました。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて機動的にポジションを変更しました。

なお、為替ヘッジは行っておりません。

S O M P O外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、93.8%です。

ポートフォリオは弊社独自の投資価値分析に基づく相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続しました。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、Accenture（米国・情報技術）やNovo Nordisk（デンマーク・ヘルスケア）などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、Procter & Gamble（米国・生活必需品）やNestle（スイス・生活必需品）などでした。



SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド

期を通して債券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、96.4%です。

債券戦略については、メキシコ、インドネシア、コロンビア等をオーバーウェイトとする一方、ポーランド、タイ等をアンダーウェイトとしました。通貨戦略については、メキシコ、コロンビア等をオーバーウェイトとする一方、タイ、ペルー等をアンダーウェイトとしました。

期中の主なポジション変更は、債券戦略において、南アフリカのオーバーウェイト幅の拡大等を行った一方、タイのアンダーウェイト幅の拡大等を行いました。通貨戦略においては、インドネシアをオーバーウェイトからアンダーウェイトに変更した一方、南アフリカのオーバーウェイト構築などを行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

各ファンドは、各マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。期を通じて各マザーファンドを組入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析等についてご説明致します。

<損保ジャパン日本債券マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、NOMURA-BPI総合指数の騰落率（-1.5%）を0.2%上回りました。イールドカーブ上の相対的に割安な年限をオーバーウェイトするレラティブ・バリューストック戦略や、事業債をオーバーウェイトする債券種別戦略がプラス要因となりました。

<SJAMラージキャップ・バリューストック・マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（-14.1%）を3.1%下回りました。要因別では、業種配分効果、個別銘柄選択効果ともにマイナス要因となりました。業種配分効果では、証券、商品先物取引業、電気・ガス業のオーバーウェイト、陸運業のアンダーウェイトなどがプラス要因となる一方、鉄鋼、建設業のオーバーウェイト、情報・通信業のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄選択効果では陸運業、小売業、機械などにおける個別銘柄選択がプラス要因となる一方、情報・通信業、建設業、輸送用機器などにおける個別銘柄選択がマイナス要因となりました。

<SJAMスモールキャップ・マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（-4.6%）を6.8%下回りました。要因別では、業種配分効果、個別銘柄選択効果ともにマイナス要因となりました。業種配分効果では、機械、サービス業、電気機器のアンダーウェイトなどがプラス要因となる一方、情報・通信業のアンダーウェイト、輸送用機器、鉄鋼のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄選択効果では銀行業、医薬品、サービス業などにおける個別銘柄選択がプラス要因となる一方、小売業、精密機器、輸送用機器などにおける個別銘柄選択がマイナス要因となりました。

<損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の騰落率（+3.7%）を0.4%上回りました。

主に米欧のロングデュレーション戦略がプラス要因となりました。

<SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、MSCIコクサイ インデックス（配当込み）の騰落率（-0.0%）を10.4%下回りました。

個別銘柄においてExxon Mobil（米国・エネルギー）やBoeing（米国・資本財）のアンダーウェイトなどがプラス要因となったものの、Carnival（米国・一般消費材）やTelefonica（スペイン・コミュニケーションサービス）のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

<SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（除くBB-格未満・ヘッジなし）の騰落率（-7.2%）を0.2%下回りました。

債券国別要因では、インドネシア、コロンビアのオーバーウェイト、タイのアンダーウェイト等がプラスに寄与しました。一方、通貨配分要因では、ブラジルのオーバーウェイト、タイ、ポーランドのアンダーウェイト等がマイナスに寄与しました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

SOMPOターゲットイヤー・ファンド

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、各ファンドで当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.2		
	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2055	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2045	SOMPOターゲットイヤー・ ファンド2035
当期分配金	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,882	1,444	1,179

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

SOMPOターゲットイヤー・ファンド

マザーファンドの受益証券などへの投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式および債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の投資環境モデルによる相場の方向性分析を加味して戦略を決定していくことを基本方針とします。今後も、金利戦略、債券種別戦略、個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

S J AMスモールキャップ・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更し、収益機会を増やす方針とします。

SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

今後の運用においても、当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続します。

SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド

引き続き、コルチェスターのバリュエーションを重視したポートフォリオを構築することにより、信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。

● お知らせ










SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました（2020年4月1日）。

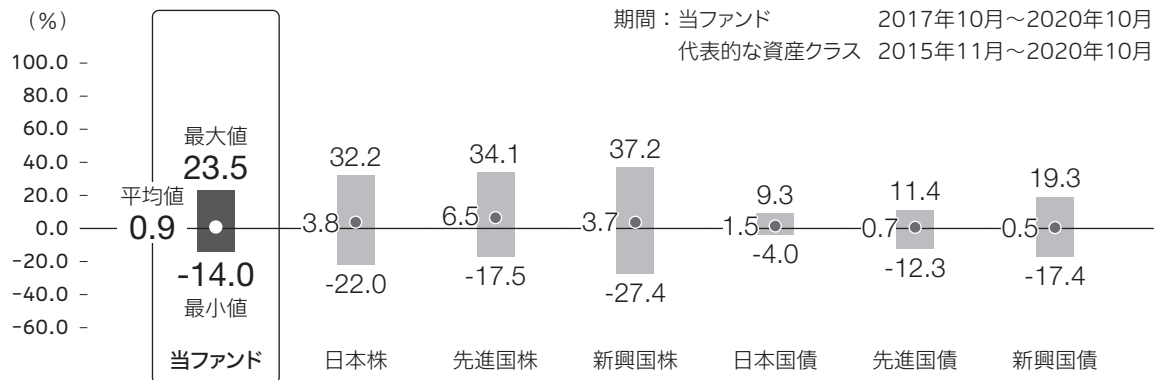
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	 SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055  SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045  SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035 下記に記載のマザーファンド受益証券およびエマージング株式またはエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託	
	 損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債	 損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし) マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
	 S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド わが国の株式	 SOMPO 外国株式アクティブバリュー (リスク抑制型) マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
	 S J A M スモールキャップ・マザーファンド わが国の株式	 S N A M コルチェスター・エマージング債券マザーファンド 新興国の公社債
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 国内外の株式や債券へ分散投資を行うことにより、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 ② 当初設定時は原則として基準資産配分比率に基づきポートフォリオを構築します。 ③ 安定運用開始時期に向けて株式への投資割合を漸減し、債券の投資割合を漸増し、原則として、安定運用期間の基準資産配分比率に基づきポートフォリオを構築し、リスクを低減する運用を行います。 ④ 安定運用開始時期以降は、原則として最大許容損失（フロア）を設定し、下落リスクを低減しつつ、安定した収益の確保を目指します。 	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 <ol style="list-style-type: none"> ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

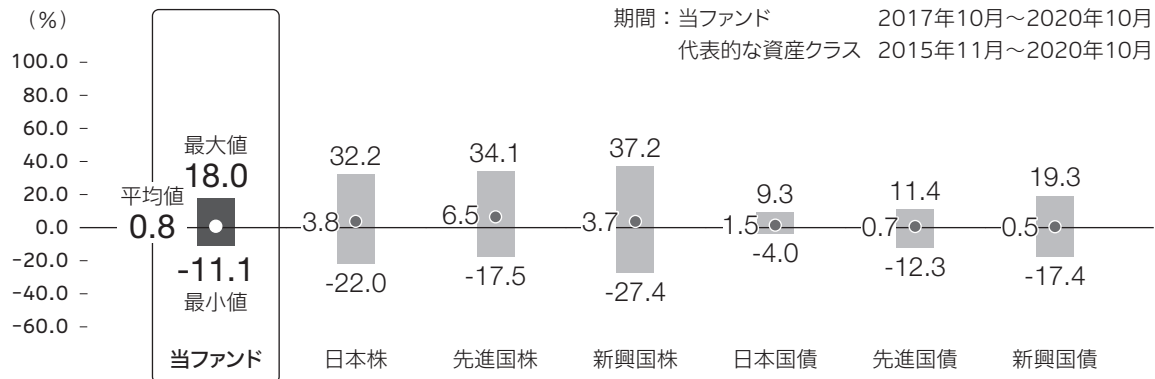
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

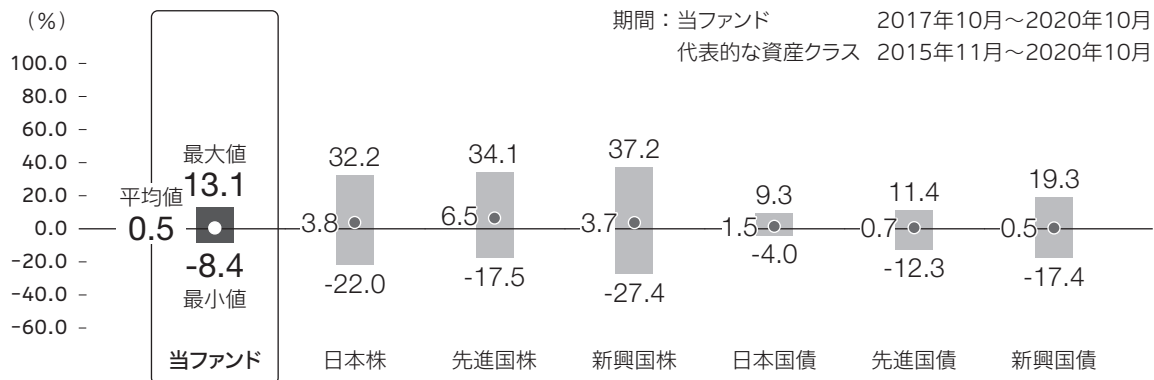
① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は50～51ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

● 当該投資信託の組入資産の内容

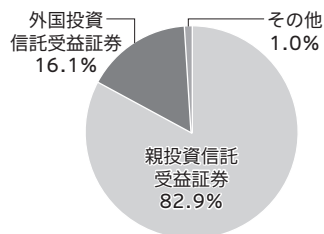
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

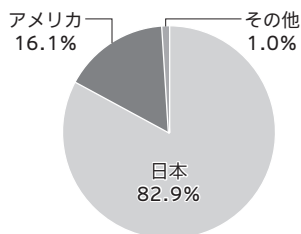
	第4期末 2020.11.2
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	32.1%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	16.2%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	16.1%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	16.0%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	12.2%
SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド	3.6%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	3.0%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

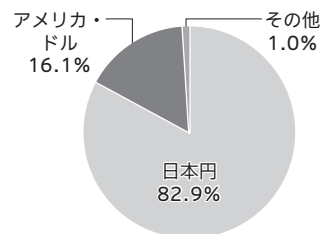
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

当該投資信託の組入資産の内容

● 純資産等

項目	第4期末 2020.11.2
純資産総額	279,360,353円
受益権総口数	248,610,708口
1万口当たり基準価額	11,237円

※ 当期中における追加設定元本額は190,171,341円、同解約元本額は57,234,835円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

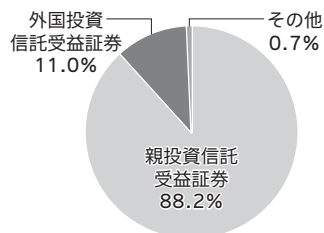
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

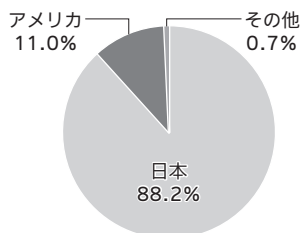
	第4期末 2020.11.2
損保ジャパン日本債券マザーファンド	26.2%
SOMPO外国株式アクティブバリュウ（リスク抑制型）マザーファンド	22.0%
SJAMラージキャップ・バリュウ・マザーファンド	14.0%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	13.9%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	11.0%
SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド	8.7%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	3.4%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

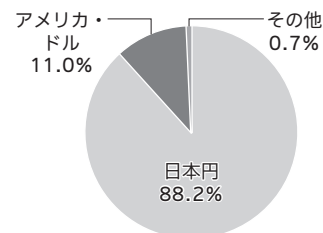
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第4期末 2020.11.2
純資産総額	375,674,057円
受益権総口数	341,556,474口
1万口当たり基準価額	10,999円

※ 当期中における追加設定元本額は226,957,501円、同解約元本額は35,046,939円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

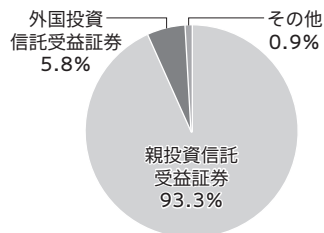
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

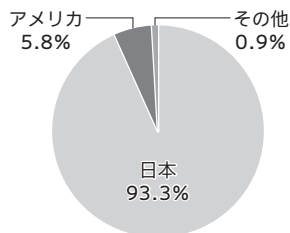
	第4期末 2020.11.2
損保ジャパン日本債券マザーファンド	38.2%
S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	11.8%
S J AMスモールキャップ・マザーファンド	11.7%
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	11.5%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	10.5%
S NAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド	9.5%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	5.8%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

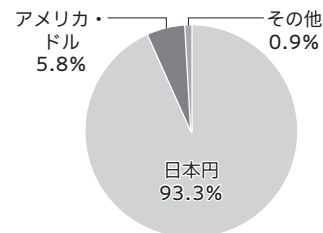
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第4期末 2020.11.2
純資産総額	674,661,353円
受益権総口数	631,261,440口
1万口当たり基準価額	10,688円

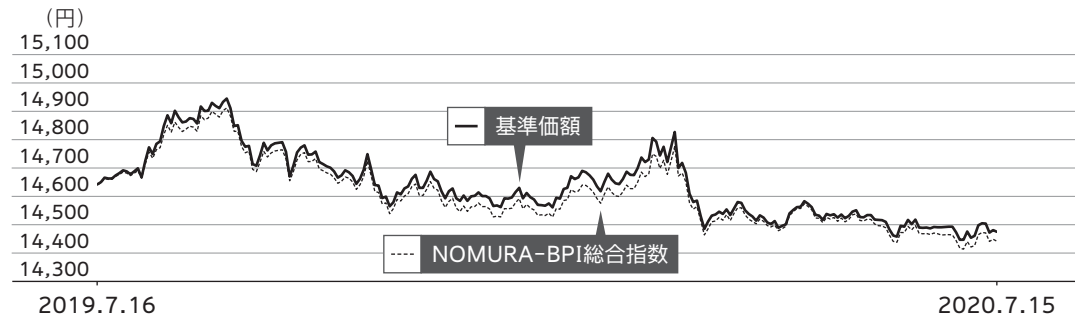
※ 当期中における追加設定元本額は477,279,551円、同解約元本額は91,765,059円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

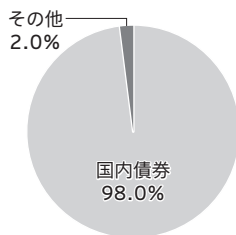
項目	2019.7.17～2020.7.15	
	金額	比率
その他費用	0円	0.000%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は14,660円です。

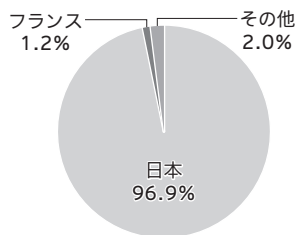
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第410回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	9.8%
2 第142回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	9.5%
3 第171回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	6.8%
4 第357回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	4.9%
5 第38回利付国債(30年)	国債証券	日本円	日本	3.7%
6 第351回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.5%
7 第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7%
8 第162回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7%
9 第413回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	2.4%
10 第408回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	2.3%
組入銘柄数		75銘柄		

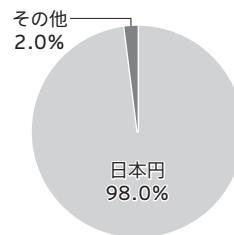
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

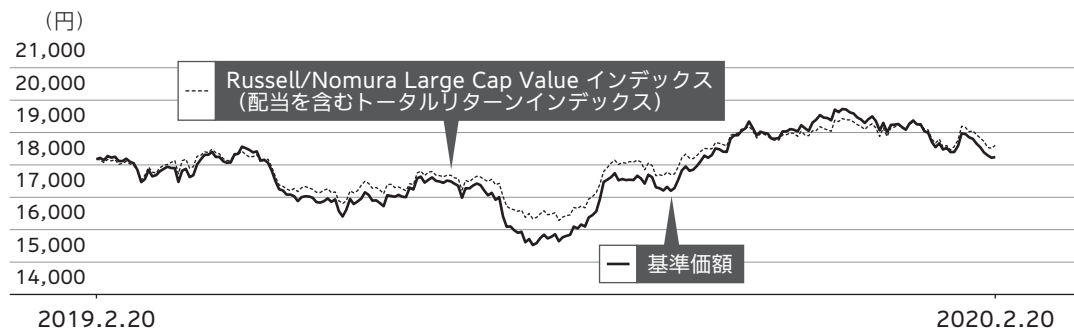
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2020年7月15日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2019年2月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

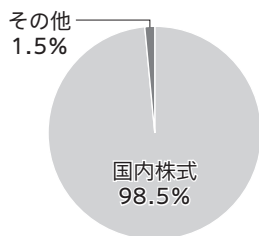
項目	2019.2.21～2020.2.20	
	金額	比率
売買委託手数料	25円	0.143%
(株式)	(25)	(0.143)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	25	0.143

期中の平均基準価額は17,787円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	通貨	国(地域)	比率
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	6.6%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	5.7%
3 本田技研工業	輸送用機器	日本円	日本	5.1%
4 野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	日本円	日本	4.6%
5 日本電信電話	情報・通信業	日本円	日本	4.6%
6 日本製鉄	鉄鋼	日本円	日本	4.0%
7 日揮ホールディングス	建設業	日本円	日本	3.6%
8 三菱電機	電気機器	日本円	日本	3.5%
9 ヤマダ電機	小売業	日本円	日本	3.4%
10 住友電気工業	非鉄金属	日本円	日本	3.2%
組入銘柄数		39銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

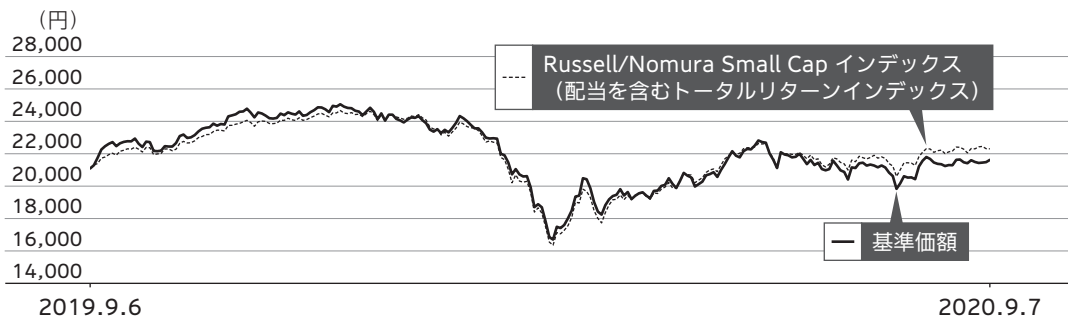
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2020年2月20日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2019年9月6日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

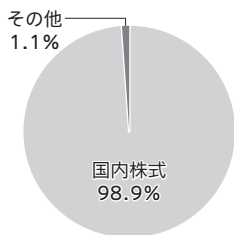
項目	2019.9.7~2020.9.7	
	金額	比率
売買委託手数料	28円	0.126%
(株式)	(28)	(0.126)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	28	0.126

期中の平均基準価額は22,046円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 EIZO	電気機器	日本円	日本	3.1%
2 シチズン時計	精密機器	日本円	日本	3.1%
3 日鉄ソリューションズ	情報・通信業	日本円	日本	3.0%
4 東邦ホールディングス	卸売業	日本円	日本	2.9%
5 八十二銀行	銀行業	日本円	日本	2.9%
6 伊予銀行	銀行業	日本円	日本	2.9%
7 七十七銀行	銀行業	日本円	日本	2.6%
8 日本ライフライン	卸売業	日本円	日本	2.6%
9 ツクイ	サービス業	日本円	日本	2.5%
10 NOK	輸送用機器	日本円	日本	2.4%
組入銘柄数		91銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

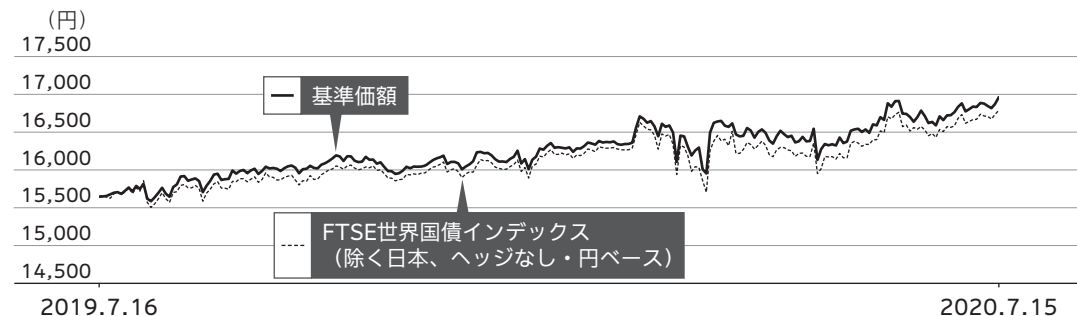
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2020年9月7日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

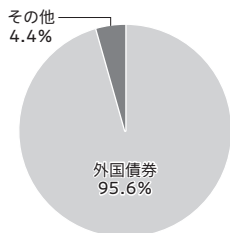
項目	2019.7.17~2020.7.15	
	金額	比率
その他費用	5円	0.029%
(保管費用)	(4)	(0.027)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	5	0.029

期中の平均基準価額は16,308円です。

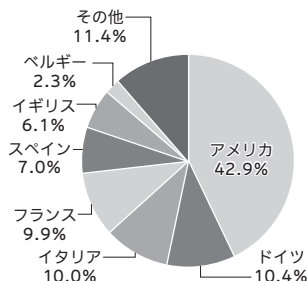
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 2.125 240229	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	6.3%
2 GERMANY 0.0 220408	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.5%
3 FRANCE 0.0 220525	国債証券	ユーロ	フランス	5.1%
4 Treasury 2.25 270215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.7%
5 ITALY 2.8 281201	国債証券	ユーロ	イタリア	3.2%
6 Treasury 2.125 250515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.1%
7 Treasury 1.75 291115	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%
8 Treasury 1.875 260630	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.8%
9 SPAIN 1.5 270430	国債証券	ユーロ	スペイン	2.7%
10 SPAIN 0.25 240730	国債証券	ユーロ	スペイン	2.7%
組入銘柄数		125銘柄		

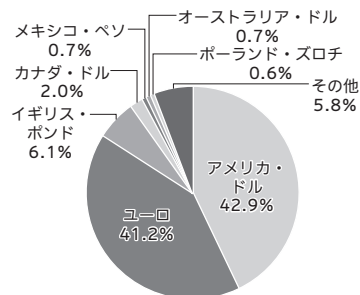
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

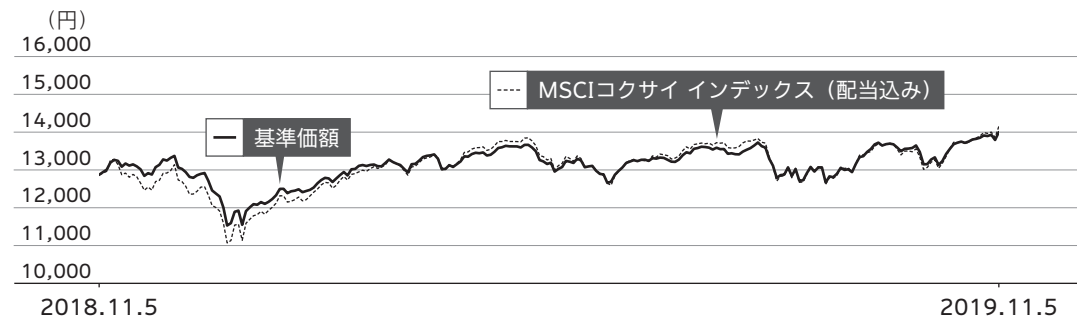
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2020年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、2018年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

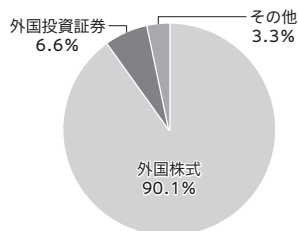
項目	2018.11.6~2019.11.5	
	金額	比率
売買委託手数料	11円	0.081%
（株式）	(10)	(0.076)
（投資信託証券）	(1)	(0.005)
有価証券取引税	3	0.026
（株式）	(3)	(0.026)
（投資信託証券）	(0)	(0.001)
その他費用	48	0.363
（保管費用）	(48)	(0.362)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	62	0.470

期中の平均基準価額は13,152円です。

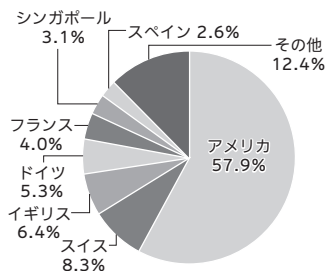
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%	
2 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
3 PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
4 AT&T INC	電気通信サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
5 NESTLE SA-REGISTERED-B	食品・飲料・タバコ	スイス・フラン	スイス	2.1%	
6 VERIZON COMMUNICATIONS	電気通信サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%	
7 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%	
8 ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	スイス・フラン	スイス	2.0%	
9 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%	
10 INTL BUSINESS MACHINES CO	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%	
組入銘柄数		94銘柄			

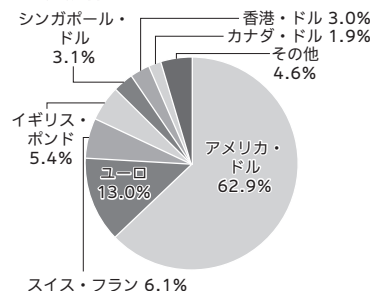
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

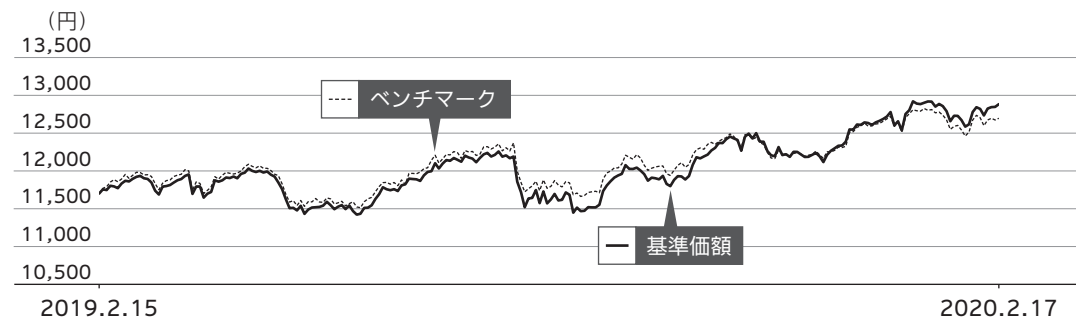
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2019年11月5日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



SNAM コルチェスター・エマージング債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（除くBB-格未満・ヘッジなし））の推移は、2019年2月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

項目	2019.2.16~2020.2.17	
	金額	比率
その他費用	25円	0.212%
(保管費用)	(23)	(0.187)
(その他)	(3)	(0.025)
合計	25	0.212

期中の平均基準価額は12,038円です。

スワップ及び先渡取引残高

種類	当期末取引契約残高
直物為替先渡取引	653

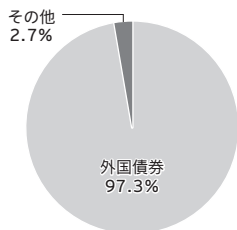
百万円

注. 金額の単位未満は切捨て。

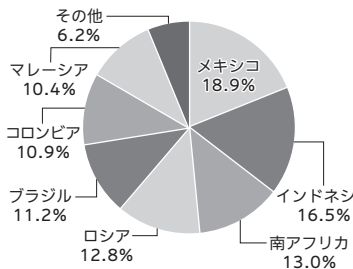
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 S-AFRICA 10.5 261221	国債証券	南アフリカ・ランド	南アフリカ	7.1%	
2 COLOMBIA 7.0 220504	国債証券	コロンビア・ペソ	コロンビア	4.1%	
3 BRAZIL 10.0 210101	国債証券	ブラジル・リアル	ブラジル	4.0%	
4 MEXICO 10.0 241205	国債証券	メキシコ・ペソ	メキシコ	3.8%	
5 MEXICO 7.5 270603	国債証券	メキシコ・ペソ	メキシコ	3.7%	
6 INDONESIA 8.25 290515	国債証券	インドネシア・ルピア	インドネシア	3.5%	
7 BRAZIL 10.0 230101	国債証券	ブラジル・リアル	ブラジル	3.4%	
8 INDONESIA 8.125 240515	国債証券	インドネシア・ルピア	インドネシア	3.3%	
9 COLOMBIA 7.5 260826	国債証券	コロンビア・ペソ	コロンビア	3.0%	
10 RUSSIA 8.15 270203	国債証券	ロシア・ルーブル	ロシア	2.6%	
組入銘柄数		69銘柄			

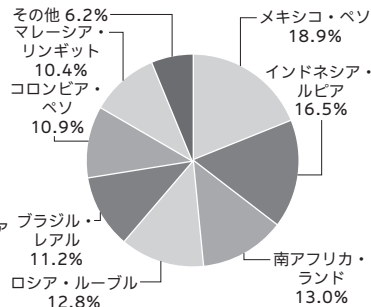
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については9ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2020年2月17日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて各ファンドの詳細をご案内しております。

検索

それぞれのファンド名をご入力下さい。

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0976/price.html>

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0975/price.html>

SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0974/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日
(申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。